

令和7年度 県小教研 表記の統一について

県小教研の表記は、「幼・小・中学校教育指導の重点」の表記を基にしています。

富山県小学校教育研究会

○ 令和7年度「幼・小・中学校教育指導の重点」表記

令和7年度版「幼・小・中学校教育指導の重点」の表記においては、常用漢字表を踏まえるとともに、「小・中学校学習指導要領」等、文部科学省が用いる表記を原則とする。

【参考資料】 「常用漢字表」（平成22年11月30日内閣告示）

「学習指導要領」「学習指導要領解説」（文部科学省）

1 主な語句の用例

語句	用 例	備 考
あ あいさつ あう（～しあう） あがる あじわう あたたかい あたる あてる あとで ありがた	挨拶 励まし 合う 考えを出し 合う 歓声が 揚がる 例を 挙げる 内容を 味わう ことができるように朗読する 温かい 学級づくり 当たる ～に 当たっては 授業時数を 充てる 後で 教材の 在り方	
い いえる いかす いきもの いっそう	主流であったと いえる → 備考欄参照 子供の考えを 生か したり 創意工夫を 生かす 生き物 を大切に 一層明確に	「言える」は実際の発言の際に使用する。
う うけとめる うちあわせ うつりかわり うるおい	相手の気持ちをしっかり 受け止める 外部講師との 打合せ 様子の 移り変わり うるおい のある教育環境	
お おく おく おける おこなう おさえる おもいやる おもしろさ および	育成に重点を 置く 通知して おく 学校図書館に おける 指導 行う 要点を 押さえる 他人を 思いやる 心 面白さ 子供たち 及び 保護者	
か かかわる かけ かしよ かたより	深く 関わり ながら 教材との 関わり の中で 言葉 かけ 四 か所 偏り なく養われるように	
き きづく きりひらく きをつける	気付き 語句などの働きに 気付く 気が付く 自分の人生を 切り拓く → 備考欄参照 気を付けて 話すこと	「切り開く」であるが、意味合いから「拓」を使用する。

く	くみあわせる くみたて くらし くりかえし くる	組合せ それらを 組み合わせる 語句の 組立て方 組み立てる 暮らし 繰り返し ～を 繰り返す ～ してくる	
け	けが	事故で けが をする	
こ	こたえる こと ことがら こども ころ	期待に 応える 経験した こと 決まりがある こと に気がき 事柄 の大体を理解しながら 子供 → 備考欄参照 日 頃 から	常用漢字表では「子供」。文科省も平成25年度から「子供」を用いている。
さ	さい さしつかえ さまざまな さらに さらに	その 際 差し支えない 様々な 意味があることを 更に 自分の考えを さらに （接続詞の場合）	
し	しかた じくばり したがう(～にしたがう) したがって しゅうとく しゅうとく じょじょに	提示の 仕方 字配り よく書くこと 示すところに 従い したがって 、子供は 基礎的・基本的な知識及び技能の 習得 技術の 修得 徐々に	
す	すえる すぐれる すすめる すすんで すばらしさ すべて	基本に 据える 表現の 優 れているところ 評価を 進める 進んで 話し合う すばらしさ 全ての 児童	
そ	そって（～にそって）	学習目標に 沿って	
た	だいたい たえず たち だれ	出席者の 大体 の意見を 絶えず 人間性を磨き 子供 たち 自分 たち 誰	
つ	ついきゅう ついきゅう つくり づくり（～づくり） つくる づけ（～づけ） つける	課題を 追究 する 夢を 追求 する 体力 つくり 環境 づくり 健康 づくり 自分 づくり つくりだす 楽しさ 描く活動と つくる 活動 意欲 付け 動機 付け 位置 付け 片 付け ～を 付ける	
て	できばえ できる てだて	技の できばえ → 備考欄参照 改善することが できる 子供への 手立て の工夫	一般的には「出来栄え」であるが、「できる」をひらがな書きすることから「できばえ」とする。

と	とう とおして とおり（どおり） とき とくに ところ ともに【接続助詞】 ともに【副詞】 とりあげる とりあつかい とりかた とりくみ とらえる	子供たちの実態 等 に配慮し → 備考欄参照 会議を 通して 次の とおり である 予想 どおり 事故の ときは 連絡する 特に 示す 現在の ところ 差し支えない 活動すると ともに 共に 学ぶ 題材を精選して 取り上げる 取扱い 取り扱う 記録の 取り方 取組 の重視 問題解決に 取り組む 取り組み方 積極的に 捉える	等…ものごとを列挙する際、その一部だけを 示して他を省略するの に用いる。 体言の後は「等」とす ることを原則とする。 (⇒用意するなど…)
な	なおす なか なじむ など ならびに	癖を 直す ように 地域社会の 中 から 敬体の文章に なじむ こと 用意する などの → 備考欄参照 並びに	用言の後は「など」と することを原則とする。 (⇒生徒の実態 等 …)
ね	ねばりづよく ねらい	粘り強く 実践する ねらい → 備考欄参照	常用漢字では「狙い」 であるが、文科省の表 記を用いる。
は	はかる はぐくむ はじめ はなしあい はやさ	指導との関連を 図る 豊かな心を 育む 学習指導を はじめ (このはじまり) 始め と終わり、 始まる 、 始める 、手 始め (時間的に早いと) 年の 初め 、 初めて 、 初め のうち、 最初 話合い の結果 → 備考欄参照 計画を 話し合う 声の大きさや 速さ	常用漢字では「話し合 い」であるが、文科省 の表記を用いる。
ひ	ひごろ ひとつひとつ ひとりひとり	日頃 の指導 一つ一つの語句の意味 一人一人	
ふ	ふまえる ふれあい ふれあい（ふれあう） ふれる	実態等を 踏まえて 触れ合い （名詞として使用する場合） ～と 触れ合い ながら（動詞として使用する場合） 折に 触れて	
ほ	ほか	他に ～の 他	
ま	または まちがい	又は 間違い	
み	みいだす みぢか みつける みとおす みにつける みやすい みられる	適切な教材を 見いだす よさを 見いだす 身近 な自然に触れる 見付ける 全体を 見通す 身に付ける 見やすい ～の傾向が みられた	
む	むかう むすびつく	向かう 結びつく	

め	めあて めざす	一人一人が 目当て をもち ～の育成を 目指して	
も	もうしこみ もしくは もつ（無形のもの） もつ（有形のもの） もって もと もと もとづいて もとより もの ものづくり	申込み もしくは 関連を もち つつ 自分の考えを もつ 用具の 持ち方 重い物を 持つ 愛情を もって 結果を 基 に（資料としての意） 指導の 下 （影響を受ける範囲の意）→ 備考欄参照 基づいて 基本的な考え方に 基づいた 体育の時間は もとより 、特別活動においても もの の見方 ものづくり や生産活動	※その他の「もと」は ひらがな書きとする。
や	やくだつ	態度を育てるのに 役立つ こと	
よ	よい よく よさ よしあし	よい 子 字配り よく 書くこと 一人一人の よさ 配列の よしあし を見分け	
わ	わかり わたり	意見や意図が 分かり 全体に わたり	

2 主な外来語の表記と略記

使用する	使用しない
アイディア Eメール コミュニケーション コミュニティ・スクール コンピュータ シミュレーション スクールガード・リーダー スタディ・メイト スタディ・メイトジュニア チーム・ティーチング プロバイダ	アイデア eメール コミュニケーション コミュニティースクール コンピューター シュミレーション スクール・ガードリーダー スタディーメイト スタディメイト・ジュニア チームティーチング プロバイダー

（主な略記）

ALT……………【Assistant Language Teacher】外国語指導助手
JTE……………【Japanese Teacher of English】日本人の英語指導者
HRT……………【Homeroom Teacher】学級担任
ICT……………【Information and Communication Technology】情報通信技術